



寄幼稚園だより

令和3年9月1日
松田町立寄幼稚園
長月(ながつき)
文責 園長

みんなちがってみんないい!

〈始業式の話より〉

猛暑日・大雨が続いた夏休みも終わり、二学期がスタートしました。

さて、東京オリンピック・パラリンピックをテレビ観戦していると、外国選手の肌の色、瞳の色、髪の毛の色、話す言葉なども違いました。また、聴覚や視覚など色々な障害がある選手やその種類や程度に合わせた競技がありました。

そこで始業式の教材となる本を町図書館へ探しに行くと、中山千夏著『どんななかんじかなあ』を見つけました。あとがきには著作のきっかけが書かれていました。

「にこにこ、すてきな女の子に会った。やりたい勉強があつて、大学をめざしてはりきっていた。電動の車椅子に乗っていた。体のなかで、自分で動かすことができるのは、指先と、目や口だけだった。日に日にだんだん体が動かなくなる病気。・中略・話しているいろいろなこと考えた。障害のある友達のこと。ないともだちのこと。自分のこと。・後略・」

製作の仕上がり早い子、じっくりと仕上げる子、仲間の仕上がりを待てる子、どろ団子の作り方を教わろうとする子、曲にのって表現するのが好きな子、どんな遊びをするか考え中の子、友達の話をお聞き子、一人で考えを巡らし試行錯誤する子、走るのが大好きな子、等々。一人一人の今とありのまま(素)を大切にしていきます。二学期には二園合同運動会、収穫祭等の行事があります。遊びは学び。子どもたちは更に成長します。

一学期同様、ご協力をお願いします。

やさい とったよ 美味しいね!! (食育の充実)

一学期は野菜を収穫し、採れたてを味わったり、家に持ち帰ったりしました。苗を植え、水を与えたり観察したりする中で生長を目の当たりにし、収穫の際にはきゅうりに棘がある、トマトが匂う…等様々なことに気がきました。採れない時には友達に手伝ってもらったり、教えてもらったりするなど助け合いながら収穫できたことも喜んでいました。また、“食べごろは?” “何個採れる?” “誰が持って帰る?” など思いを伝え合う場面も見られました。そして、持ち帰った野菜について「〇〇して食べたよ」「家で食べておいしかった」などの感想を教師や友達に伝える姿もありました。そのような食育活動の中で五感を使った自然体験や友達との関わりなど様々な経験を積み重ねつつ、栽培物への関心がより一層高めることができたと感じています。

二学期(10月)は親子で芋掘り(保護者保育体験)を予定しています。お子さんが何に気付いたか? 興味をもっているか? 何を楽しんでいるか? 友達との関わり方など感じていただければと思います。



誰が採ったエンドウかな?



どんな音がするかな~?



どっちが長いか比べてみよう!!



松田幼稚園との交流が本格的に始まります。

一人一人が新たな環境で好きな事、やりたいことに夢中になって取り組み、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさや、挑戦したり競い合ったりする面白さを感じられるように支援していきます。

また、栽培活動や自然を活用した取り組み(園外保育・製作活動・飼育)等、寄の環境を活かした豊かな自然体験が充実できるようにしていきます。